

1983 年度末飼育頭数

種名	頭数
コモンツパイン	13
ワオキツネザル	6
オオガラゴ	4
コモンマーモセツト	5
ワタボウシタマリン	11
ヨザル	8
リスザル	4
ノドジロオマキザル	1
フサオマキザル	4
チュウベイクモザル	1
ミドリザル	3
パタスザル	2
ニホンザル	361
ヤクニホンザル	23
アカゲザル	170
タイワンザル	16
ブタオザル	5
ベニガオザル	7
ボンネットザル	14
カニクイザル	23
アッサムザル	3
Mff × Mfy	1
Mff × Mm	4
Mi × Mn	1
Ep × Ca	2
マントヒヒ	12
シロテテナガザル	2
アシルテナガザル	1
チンパンジー	9
計	716

氏名	学年	指導教官	研究テーマ
鹿野一厚	D3	河合雅雄	から若年期の成長 (年度途中退学) ヤギの社会生態を基 盤としたヤギ遊牧民 の生態人類学的研究
宮藤浩子	D3	河合雅雄	マンドリルの社会生 態学的研究
ジャン・ バルセロ	D3	河合雅雄	熱帯多雨林の樹上性 霊長類の生態社会学 的研究
名取真人	D2	江原昭善	リスザルの臼歯の個 体変異について
三谷雅純	D1	河合雅雄	熱帯多雨林の樹上性 霊長類の音声伝達に 関する研究
広谷 彰	D1	河合雅雄	イノシシを主とした 狩猟生活の生態人類 学的研究
吉久保真一	M2	室伏靖子	霊長類の種の認知に 関する実験的研究
大井 徹	M2	川村俊蔵	ニホンザルの採食行 動の社会生態学的研 究
丹治雅夫	M2	高橋健治	霊長類の組織プロテ アーゼの性状と生理 的分割
沢口俊之	M2	久保田競	前頭前野の機能的細 胞構築
早坂謙二	M1	野沢 謙	ニホンザルの父権に 関する研究
村山裕一	M1	高橋健治	霊長類のリンパ球抗 原について
Solomon Yirga	M1	江原昭善	霊長類各群における 下肢の筋・骨格系とロ コモーションの関連性

大 学 院 学 生

昭和58年度における京都大学理学研究科動物学
専攻霊長類学分科の学生とその指導教官・研究テ
ーマは次のとおりである。

氏名	学年	指導教官	研究テーマ
星野次郎	D4	河合雅雄	マンドリルの生態学 的研究
浜田 稔	D4	岩本光雄	マカクザルの胎児期

研 修 員

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
Pamela J. Asquith	杉山幸丸	欧米と日本の霊 長類学における 擬人主義の比較	57.5.1 ～ 58.4.30

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
泉山茂之	川村俊蔵	研究 ニホンザルの猿 害防止について の実験的研究	57.5.1 ～58.4.30
〃	〃	野生ニホンザル の耕地回避学習 についての地域 間比較研究	58.5.16 ～59.5.15
竹中晃子	竹中 修	霊長類の系統と ヘモグロビンの 構造	57.8.1 ～59.7.31
瀬戸口 美恵子	川村俊蔵	小哺乳類の社会 生態学的研究	57.8.1 ～59.7.31
平尾哲二	高橋健治	霊長類組織プロ テアーゼの性状 と機能に関する 研究	57.11.12 ～58.11.11
市原慶和	高橋健治	霊長類の蛋白分 解酵素の構造・ 機能及び進化	58.4.1 ～59.3.31
松本 真	江原昭善	霊長類頭骨の比 較形態学的研究	58.4.1 ～59.3.31
板倉昭二	室伏靖子	霊長類の概念学 習に関する研究	58.4.16 ～59.3.15

日本学術振興会奨励研究員

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
丸橋珠樹	河合雅雄	野生ニホンザル 個体群の通時的 維持機構の研究	58.4.1 ～59.3.31
森山恭子	岩本光雄	霊長類筋骨系の 形態学的研究	58.4.1 ～59.3.31

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
川本 芳	野澤 謙	インドネシア産 カニクイザルの 集団遺伝学的研 究	58.4.1 ～59.3.31

所内談話会演題

5月18日(水)	木村 賛 霊長類四足歩行の特徴
6月15日(水)	花岡正男(京大・ウイルス研) 成人T細胞白血病について
6月22日(水)	杉山幸丸 動物の子殺し
7月20日(水)	中村 伸 止血・免疫のからみ糸
9月21日(水)	相見 満 スマトラの Leaf-monkey 調査行
10月26日(水)	林 基治 神経ペプチドの個体発生
11月30日(水)	川村俊蔵 スマトラを中心とする霊長類の研究活動
1月10日(火)	和田一雄 中国の哺乳類研究
2月15日(水)	松村道一 脳の回路網とコンピューター (岩本・野崎)